

## 沖縄県公安委員会定例会会議録（令和8年1月22日）

### 1 主な報告等

#### (1) 令和7年度留置施設に対する実地監査結果について

委員から、留置管理は警察の業務の中でも異色であり、担当者のモチベーション維持が大切だ。被留置人の中にはルールを乱す者もいると思う。刑務所なら、懲罰もできるだろうが、留置場ではそのようなこともできないだろう。担当者は高いストレスを受けていると思うので、精神的なケアや業務への意欲を高める施策などを検討してほしい。被留置人にも様々な人がいることから、個別の処遇は難しいと思う。医療現場でも大勢の入院患者を対応しているが、まず入院してきたときに一人一人どう対応するか評価をして計画を作成し、次にそれが実行しているかを確認していると聞いている。定型的なチェック表にして担当者が回った時にチェックするだけにしているようだ。見落としを防ぐためには、チームのメンバーが誰でもできるようにすることが大事である。後に検証するときにも必要になるので、記録を残しておくことが重要である。ただ、確認事項には際限がないと思うので、これまでの経験から優先事項を選定し、業務負担にならないよう注意してほしい。事故は基本を怠った時に起こると一般的に言われているので、これからも地道に取り組んでほしい旨の発言があった。

#### (2) 年末・年始総合警戒の実施結果について

委員から、飲酒運転防止対策として、年末年始に検問をすることはかなり浸透していると思う。防犯活動についても、県民に実際に体感してもらった方が効果があると思う。先日、振り込みのため金融機関を利用した際、窓口職員が最後まで詐欺被害にあっていないか気にかけてくれたほか、コンビニエンスストアでプリペイドカードを購入しようとした際にも、店員から「大丈夫ですか？」などと声をかけられるなど、社会で見守る雰囲気醸成され、とても安心感を覚えた。そのほか、特殊詐欺防止PRフロアマットの作成や、テレビコマーシャルの放映など、様々な立場の人々が、自分たちでできる防犯対策に取り組んでいただけたことは、非常にありがたい話である。ここまで認知度が高まったのも、各警察署の努力があったからだと思う。しかし怖いのは「慣れ」である。慣れてしまうと自分は大丈夫だと過信してしまうので、随時各種対策を見直してほしい旨の発言があった。

#### (3) その他

警察本部から、本日新しい警察本部長が着任する。早速、各種選挙、県議会のほか日々の事件事故の対応が考えられる。新本部長のもと、より良い組織運営をして行く所存であることから、今後とも指導、提言を賜りたい旨の発言があった。

## 2 主な決裁等

### (1) 警務部

- ・ 「沖縄県警察職員の定員に関する条例の一部を改正する条例（案）」について
- ・ 令和7年度警察宛て苦情の受理及び処理結果について
- ・ 裁決書裁決について（2件）
- ・ 審査請求の受付について（2件）
- ・ 審査請求の諮問について

### (2) 生活安全部

- ・ 少年関係報告について
- ・ 少年指導委員の新規委嘱について

### (3) 地域部

- ・ 沖縄県警察関係手数料条例の一部を改正する条例について

### (4) 交通部

- ・ 交通情報の提供に関する事務の委託契約に係る公安委員会の認定審査について
- ・ 自動車運転免許の行政処分について
- ・ 更新時講習の開始時間の変更について

### (5) 情報通信部

- ・ 情報技術解析課の業務紹介等について